

## 大草谷津田いきものの里 自然観察会

### 楽しもう！草花遊び

山岸 文子（千葉市）

日 時：2016年7月3日（日）10:30分～12:00 天気：曇り

参 加 者：9名（大人7名、子ども2名）

担当指導員：松本美千代、山岸文子

ほんの少し昔、子どもだった頃、道端や庭先で摘んだ草花を使って、ままごとをしたり草笛で遊んだ経験は多くの人が持っていると思われる。そんな懐かしい思い出に浸りつつ、今の子ども達にも草花遊びを伝承していきたい・・・この企画はそんな思いから生まれた。

講師を達人の佐藤一枝さんにお願いする事にして、今年で4年目になる。ところが、観察会の6日前になって、担当（する筈だった）の佐藤さんから突然入院の知らせ。寝耳に水。ピンチヒッターを引き受けざるを得なくなつた。松本さんと下見を兼ねて作戦を練る。

① 笹舟を作つて水路に浮かべる ②シロツメクサの花で指輪・腕輪作り ③オオバコの茎でもう遊び・・・毎年好評の七夕飾りは入口広場に立てる事にして、短冊、こより、提灯、吹流し、投網 等々を用意した。

当日、マダケを伐つて運んできたところに、佐藤さんのご主人が七夕飾り、糊、鉄等々をわざわざ持って来て下さった。容体は安定というお話に安堵するも、至らないばかりに病人に心配を掛けてしまつて、只々恐縮するばかり。短冊は健康を願う内容だけになってしまった。

強烈な日差しと強風のせいか、開始予定時刻を過ぎても子どもは来ない。集まった大人達は無類のムシ好き。虫の観察会に切り替える事にして出発。

孵化して数日のオナガグモが1匹だけ残っていた。兄弟は風に乗つてそれぞれの居場所に旅立つて行ったか・・・。ニイニイゼミが鳴き始めている。

11時頃になってやっと親子連れが参加。子どもにトホシテントウの星を数えて貰い、トホシの意味を理解した様子。林縁の低い葉の上にミドリシジミ、ウラギンシジミ、ムラサキシジミが相次いで見つかった。普段もっと高い位置に飛んでいてなかなか撫まらないのだが、今日の強い風が幸いして、じっくり観察できた。

田んぼの近くまで歩くと、もうお昼になった。入口広場へ戻つて、給水タイム。唯一の草花遊びになつたが、シュロで編んだヘビを子ども達のお土産に。指にぴったり食い込むヘビに大喜び。お父さんお母さんの分も持ち帰つて貰つた。大小合わせて14匹も拵えたのに、子ども達の参加が少ないので正直ガッカリしたが、少人数だからこそ皆で心ゆくまで見られる中身の濃い観察会になつた。来年はきっと本来の草花遊びを楽しめる事と思う。早く良くなつて下さい、達人！！

